







### 小野 達三 (三笠建設機械株式会社) 社長の叙勲と 遠藤守三郎 (館林信用金庫) 理事長の授章

昨年度秋の叙勲受章者として、当社西部地区総発元三笠建設機械株式会社社長小野達三氏に勲五等瑞宝章、並に当社永年の取引銀行であり、個人的に株主でもある、館林信用金庫理事長の遠藤守三郎氏に黄綬褒章が贈られました。

小野社長は大正十五年、まで四十八年の長きにわたる誠實な事業家として、終始堅実なる事業方針を堅持され、この両社の社長ご功績はまことに枚挙にいとまず。遠藤理事長は、昭和二十二年五月には、弊社の西部地区総発元として、昭和二十七年五月に、三笠建設機械株式会社を創立され、爾来今日にいたるまで、この両社の社長ご功績はまことに枚挙にいとまず。遠藤理事長は、昭和二十二年五月には、弊社の西部地区総発元として、昭和二十七年五月に、三笠建設機械株式会社を創立され、爾来今日にいたるまで、この両社の社長ご功績はまことに枚挙にいとまず。



（受章記念撮影後の小野達三氏）  
（三笠建設機械株式会社社長）

#### 受賞及公職歴

昭和三十五年十一月 大阪府知事表彰 (個人納税功勞)  
昭和三十六年十一月 国税庁長官表彰 (個人納税功勞)  
昭和三十七年五月 大阪府知事表彰 (産業功勞)  
昭和四十年九月 監製表彰受賞 (個人納税功勞)  
昭和四十五年十一月 大阪市長表彰 (産業功勞)  
大阪機械金属商業連合会会長  
大阪卸売商連盟副会長

（お喜びの遠藤守三郎館林信用金庫理事長）



遠藤理事長は、昭和五年成に活躍されておられま敬慕するところであり、このように地方産業の発展に貢献され、館林信用金庫が豊富な資金量を以てよく土地改良の功績で勲六等と、このたびは、あまつきえ閣下金融界の重鎮として、地元の興隆等に黄綬褒章を次兄の前館林市長遠藤守三郎氏も勲四めでたい限りであります。

#### 受賞及公職歴

昭和二十九年一月 群馬県信用金庫協室長より永年勤続表彰  
昭和三十三年五月 全国信用金庫協室長より永年勤続特別表彰  
昭和三十九年九月 全国信用金庫協室長より永年勤続特別表彰  
昭和四十二年五月 群馬県信用金庫協室長より永年勤続特別表彰  
群馬県信用金庫協室長  
関東信用金庫協室長



### 中央機材(株)本社

#### 新築落成



（宇田川社長）  
（宇田川本社）



最後に我社平戸経理部長の音頭で乾杯し、同社の互に機械工具の総合販売店として、粒々辛辛を重ねたの活躍をお祈り申し上げ、其の努力と堅実なる営た。川口報

中央機材業方針が突つて、最近順に株式会社の発展を遂げたので、本社が本年六月新社屋の建設に着工、ここにめでたく近代化的な鉄筋コンクリート五階建ての親睦団体のモダンな本社社屋が見事完成されました。

### ゴルフ用品機械展示会



十二月七日(木)グリーンキーパーズ協会の主催に、その後楽園競輪場広場に於て、またニューゼー(グリーン)さんもこれからのゴルフ場建設には、小型駆圧機械が必要品になるという見識が広がり始めています。コンパクターに対する質問も非常に熱がこもっており、私一人ではとても全部にはお答え出来ない程であった。

### 春日部市商工祭工業展

会期 十一月十七日～十一月十九日  
主催 春日部市商工会  
会場 春日部体育館



創業以来十七年の永きに音頭で乾杯し、同社の互に機械工具の総合販売店として、粒々辛辛を重ねたの活躍をお祈り申し上げ、其の努力と堅実なる営た。川口報

### インフルエンザ予防接種実施

本年も残りわずかと云々、朝夕も冷たい。実施以前には、よく社員から今年の忘年会であること、爆発的のルツボと化したり、会場の来客も、川口次長の音頭で中絶とし、一同来年へのファイトを誓い合いつつ、夜の港気分を満喫しながら散会した。

### 昭和47年度 三笠忘年会開催



昭和四十七年度忘年会は、師走もおし追った十二月二十日(水)午後六時より、港の見える街、横浜でも特別の赤門で知られている中華街の一角、広東料理の老舗「萬珍樓」で行われた。

この開催として、数年前の無理出勤者等は殆ど見られなくなった。そのようが効果奏し、インフルエンザなことから今年の予防接種時には、時間前からは、時間前からは、先にと働んで接種に協力してくれたので、男子社員もその勢いにおおられて、か、ながい列を作つて接種を受けた。冬風吹き過ぎゆきしよし、先生に自分の健康状態を色々質問したり、ご指導を願つたりして積極的なごやかな雰囲気の中を終了した。この調子だとこの冬も、三笠に風邪なし、の平和な冬が迎へられ、笠では流行性感冒と吹くて業務に励んでくれること風を休んだり、高熱をおし

三笠産業俳句  
穂波 遠  
横浜 村松みね代  
夫の忌の近づき急ぎ陣子張  
東京 森 昭男  
冬風吹き過ぎゆきしよし  
茅ヶ崎 裕 司郎  
菜畑一枚脊山に貼りて冬籠  
業牡丹や銀行の中まだ灯る  
横濱 加藤 京女  
行きずりの人亡夫に似て秋  
訪れてすぐに去り行く時雨  
一人行く雨の枯野の遠き事  
茅ヶ崎 裕 百合子  
いもの蔓笛まよふて黄ばみ  
一人旅柿の渋さが未だ残る  
黄菊白菊乾く間もなし虚子の墓  
館林 長谷川金雄  
在庫無きを責められたら  
師走かな  
風立ちて冬ざれの沼去りに  
始業待つ吾等に赤城凍て追  
花虹のかそけき超音花ハツ  
初明り伊勢は巨杉の秀群よ  
満ち足らぬ思いなげうて除  
夜の底  
館林 武井 光彰  
残雪光る立山九月の天を突  
径ゆする農婦美貌や枯す  
花ススキ美しき娘のポーズ  
落葉の表裏洒落々と波なせ  
ダム放水虹つくる黒部眼下  
冬の浪魚骨一片曳き余す  
（評）漁夫の曳き残した魚の骨でもあろうか、肉は浜ガラスにむし取られ、今は浪にさらされて、今冬浪の去来を捉えた渚の感持がよく出ていて仲々面白い。  
選後吟  
風長し喉におどろく鴨の